

海陽だより

荒尾海陽中学校
第4号 (R6.5.31)
「挑戦！ 一歩前進」
文責：校長



早いもので、もう明日から6月です。6月の和名は「水無月」。ここに使われる「無」は、「無い」という意味ではなく、「の」を意味します。「水無月」とは、「田んぼに水を引く月」を由来とし、「水の月」という意味があります。暦の上では、「立春」から135日目（6月11日頃）が「入梅」です。梅の実が熟す頃で、梅雨の始まりとされていますが、現代では気象庁から発表される「梅雨入り」「梅雨明け」が梅雨の目安です。他には、葵月（あおいづき）、風待月（かぜまちづき）、常夏月（とこなつづき）とも言われます。蒸し暑い季節になりますので、体調管理や食中毒等にも気をつけたいものです。

団結、感動、迫力のある体育大会

「駆け抜ける、チーム一丸～connect to the future」のスロークラウドのつもりで5月19日に体育大会を開催しました。生徒たちは、準備から当日までそれぞれが役割を果たし、体育大会を成功させることができました。最後まであきらめず、自分の力を一杯発揮していた姿に感動したのは私だけではありません。多くの皆様のご声援、ありがとうございました。また、本年度かまち市議会議員の方々や学校運営協議会の方々をご案内して開催できたことをうれしく思います。

1年生は初めての体育大会、2年生は来年度へつなげる体育大会、3年生は中学校最後の体育大会とそれぞれ思いは違っても、それぞれのリーダーが団をまとめ、荒尾海陽中学校一丸となって駆け抜けた体育大会だったと思います。団結した感動、迫力のある体育大会をありがとうございます。立派な挑戦でした。

体育大会の振り返り集会にて

5月21日に全校生徒が体育館に集まり、「体育大会の振り返り集会」を行いました。冒頭で、全種目をプレゼンし、映像で見ました。各クラス旗の映像や必死でバトンを繋ぐ姿、団体競技の長縄跳びやムカデ競走、綱引き、楽しく笑顔で踊る3年生のダンス等、生徒が躍動する姿を振り返ることができました。その陰にはナイスショットを撮り続けた先生や休みの日を返上して編集した先生の取組のおかげです。ありがとうございました。

その後、各学年から3名の人が立派に体育大会を振り返ってくれました。

【1年代表】

私にとって初めての体育大会でした。初めてだったので3年生の足を引っ張らないか、みんながまともに行動できるかなど不安や緊張がありました。体育大会の結団式で応援団の3年生の自己紹介があり、応援団長の思いを知ることができました。最後は体育大会だから最高の思い出ができるよう頑張ろうと思いました。1回目の団練習が始まって応援歌が書かれた紙をもらいました。だんだん全体練習も増えていき、団長が一人ずつ1.2.3年生をまとめているのがすごいなと思いました。団長は私たちにラジオ体操を丁寧に教えてくれたり、前の日の反省点などを教えて、みんながまともに行動できるようにアドバイスをくれたりしました。はじめは緊張もあつたけど3年生の思いを知ってがんばることができました。体育大会本番では、今まで練習してきたことを全部出してがんばるつもりです。最初には比べて全員声も大きくなって、行動も早くなつていくことができました。団長が「最高の体育大会になりました。」と言ってくれて、うれしかったです。頑張りたいと思います。クラスの練習でも学んだことの振り返りもたくさんあり、私たちが長縄跳びとリレーに取り組まれました。特に私たちがクラスでは、長縄をたくさん練習してきました。競技を通して最後まで走り抜けていきたいと思います。毎日朝練を行いました。たくさん練習をすることができました。初めは協力して取り組むことができました。ありがとうございます。来年も再来年も頑張ります。

